国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.
Press Release

令和８年 11 月６日
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

横浜港でオンシャーシデポの現地実証を行います

～コンテナ物流の効率化に向けて～

横浜港南本牧ふ頭において、コンテナ物流の効率化に向け、オンシャーシデポの現地実証を 11 月９日（月）より実施します。昨年度の実証結果を踏まえ、参加事業者数、実施期間及び台数を拡大するとともに、複数の陸運事業者間でのシャーシの相互利用を拡大し、中継輸送の実用化に向けた有効性の検証や課題の抽出を行います。

関東地方整備局では、コンテナ物流の効率化に向け、横浜港南本牧ふ頭コンテナターミナルにおいてオンシャーシデポの現地実証を実施します。

オンシャーシデポは、倉庫等の貨物保管場所とコンテナターミナルの中間で、コンテナを積載したシャーシを一時保管することで輸送を分担・分割し、荷待ち時間の削減や物流の効率化を図るものです。また、陸運事業者間でシャーシを相互利用することにより、貨物保管場所とオンシャーシデポの間を輸送する事業者と、オンシャーシデポとコンテナターミナルの間を輸送する事業者を分け、効率的な役割分担を行うことが可能です。

今年度の実証では、シャーシの相互利用を行う陸運事業者を２社から６社に拡大するとともに、参加事業者数や実施期間、台数を拡大し、中継輸送の実用化に向けた有効性の検証や課題の抽出を行います。

〈現地実証の概要〉

期間：令和８年 11 月９日（月）から 11 月 27 日（金）まで
　　ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。
場所：横浜港南本牧ふ頭第二車両待機場の一部
対象コンテナ：横浜港南本牧ふ頭ＭＣ１、ＭＣ２に搬出入するドライコンテナ
参加事業者：神奈川県トラック協会海上コンテナ部会加盟店社のうち６社

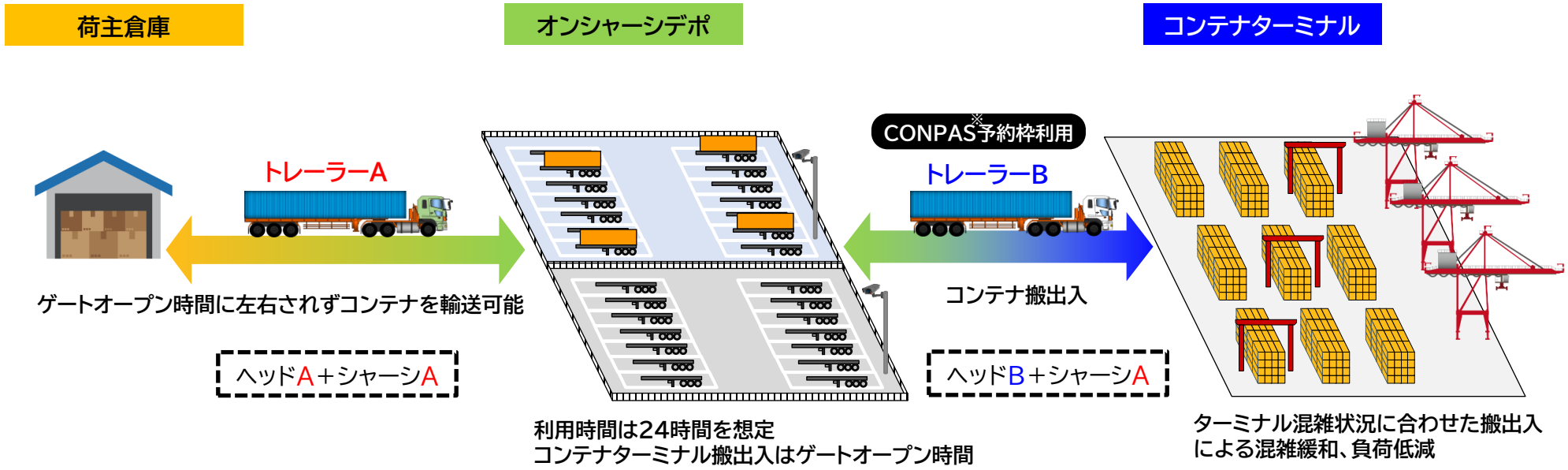
＜発表記者クラブ＞
竹芝記者クラブ･神奈川建設記者会･横浜海事記者クラブ･物流専門紙･その他専門紙

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局　港湾空港部
電話：０４５－２１１－７４３７　メールアドレス： info-i83ab@mlit.go.jp
クルーズ振興･港湾物流企画室長　　久保（くぼ）　（内線：５７２９）

オンシャーシデポ(OCD)の概要

・コンテナターミナルのゲート前渋滞によるトラックドライバーの長時間待機が社会的な問題となっている。
・その対策の一環として、荷主倉庫からコンテナターミナルへの中継基地として、シャーシにコンテナを積載した状態で一時仮置き可能な施設「オンシャーシデポ(OCD)」を導入し、輸送と搬出入を分担・分割することにより、荷待ち時間の削減や物流の効率化を図る。

オンシャーシデポ活用イメージ



※CONPAS(コンパス):国土交通省が開発したコンテナターミナルの予約システム

R8d オンシャーシデポ実証実験の実施概要　※昨年度との相違点

	令和7年度（実績）	令和8年度（予定）
目的	オンシャーシデポにてトレーラーA、Bを中継しコンテナターミナルへの搬出入を行う一連の流れの検証	複数の陸運事業者間でのシャーシの相互利用を拡大し、中継輸送の実用化に向けた有効性の検証や課題の抽出
実施時期	11月25日～12月6日	11月9日～11月27日
期間	2週間	3週間
参加陸運	5店社 （五十音順） 株式会社日新 国際コンテナ輸送株式会社 日本通運株式会社 藤木陸運株式会社 菱倉運輸株式会社	6店社 （五十音順） 宇徳ロジスティクス株式会社 株式会社日新 国際コンテナ輸送株式会社 日本通運株式会社 藤木陸運株式会社 菱倉運輸株式会社
対象コンテナ	全種別（搬出入・実入り空） ※MC1/2・3/4に搬出入するDryコンテナ	全種別（搬出入・実入り空） ※MC1/2に搬出入するDryコンテナ
駐車枠	12台	24台
実証フィールド	南本牧第二待機場	同左
ヘッドBとシャーシの組み合わせ	同一陸運での組み合わせ中心	異なる陸運間の組み合わせを拡大（2社→6社）
OCD予約方法	事務局へ予約票をメール送信	システム（Web）により予約
予約状況の情報共有	事務局からの定時メール	システムによりリアルタイムで確認